

1 文章の組み立てをくふうし、中心のはっきりした文章を書きましょう。  
2 段落の初めは、必ず一字下げて書き始め、段落ごとに行を変えましょう。

( ) 月 日 曜日

もう一度行きたい  
 神山小学校 六年 大山 かな  
 私は、小さい頃に、お母さんとお姉ちゃん  
 と一緒に、太鼓岩に登りました。  
 その時は、まだ小さかったのですが、木がすご  
 く高い事にびっくりしました。一本一本の木  
 が葉を大きく広げていたので、辺りが暗かっ  
 たです。たまに風が吹いた時に、木漏れ日が  
 差すくらいでした。まわりは、とても静かで、  
 私たちの足音が聞こえてきます。時々、鳥の  
 鳴く声も聞こえてきました。そして、太鼓岩  
 に着くと、まるで屋久島全部が見える感じで  
 した。私はその景色に吸い込まれるかのように  
 に、自然に体が行きました。そして、太  
 鼓岩から落ちそうになりました。でも、お姉  
 ちゃんや、もう、危ないよ。  
 と、言われました。そこから、私は怖くなり  
 ました。下りる時に、  
 ーまだ上あるけど行くー

No.

3 詩はどの行も三ばんめのマスから書き頭をそろえましょう。  
4 書き終ったら、何回も読み直して、まちがいを直したり、書き足りないところを書き足し、むだなところはけずりましょう。

(不許複製)



- 1 文章の組み立てをくふうし、中心のはっきりした文章を書きましょう。
- 2 段落の初めは、必ず一字下げて書き始め、段落ごとに行を変えましょう。

( ) 月 日 曜日

と、お母さんに聞かれたので、私は、  
 「行かない。」  
 と、言いました。理由は、怖かったからです。  
 でも、下りてる時に、「屋久島って自然がい  
 っぱいではないか」と思いました。  
 今、思いかえしてみると、太鼓岩は、大き  
 くて、よく日光も当たるところで、すごく気  
 持ちが良かったです。それに、落ちそうになっ  
 事は、屋久島の景色がすごくきれいだったか  
 らです。なので、次は、私が大きくなった時  
 に、もう一度登って、屋久島の自然や、景色  
 を楽しみたいです。もちろん、次行つた時は、  
 太鼓岩から落ちないようにしたいです。

No. \_\_\_\_\_

- 3 詩はどの行も三ばんめのマスから書き頭をそろえましょう。
- 4 書き終わったら、何回も読み直して、まちがいを直したり、書き足りないところを書き足し、むだなところはけずりましょう。

(不許複製)

